

郵政博物館開館記念特別展
ふきやこうじ
—少女たちの憧れ— **落谷虹児 展**

オープン日の 2014 年 3 月 1 日(土)から 5 月 25 日(日)まで開催

1997 年に発行され人気を博したふるさと切手「花嫁」の原画をはじめ、
大正・昭和に活躍した人気挿絵画家 落谷虹児の珠玉の作品・資料約 200 点を公開!

公益財団法人 通信文化協会は、2014 年 3 月 1 日(土)にオープンする「郵政博物館」の開館記念特別展として、「—少女たちの憧れ—落谷虹児展」を 5 月 25 日(日)まで開催します。

落谷虹児(1898~1979)は、大正から昭和にかけて少女雑誌の挿絵や表紙絵などで活躍した人気挿絵画家です。21 歳の時に竹久夢二の紹介で『少女画報』にデビュー、彼の抒情的且つモダンで洗練された作風は、当時の少女たちを魅了し、瞬く間に人気作家となりました。童謡「花嫁人形」の詩人としても知られ、晩年に発表した作品「花嫁」が 1997 年にふるさと切手として発行されるなど、今なお親しまれています。

本展では、1997年に発行し、人気を博したふるさと切手「花嫁」の原画をはじめ、落谷虹児の珠玉の作品や資料およそ 200 点を前期・後期に分けて展示公開します。展示は、彼の多彩な活動を大きく 4 つのテーマ<①少女雑誌の作品②本格的な画家を目指したパリ留学時代の作品、③詩画集や戦時中の作品④絵本・童話原画や集大成といえる晩年作品>に分け、紹介します。



《花嫁》1968 年 / 落谷虹児記念館(新発田市)蔵

落谷虹児が時代を超えて今でも多くのファンから愛されている存在であること、また、彼の画をモチーフとしたふるさと切手が非常に人気を博したことから、郵政博物館オープンに際しての目玉の一つとして、本展を開催いたします。

なお本展は、落谷虹児のふるさとである新潟県新発田市と日本郵政株式会社に後援いただいています。

《入場チケットプレゼントのご案内》

貴媒体の読者およびユーザーの方に向けて、招待券をご用意しています。

ご提供できる枚数は、ご相談可能ですので(最大 10 枚)、お気軽にお問い合わせ先までご連絡ください。

展示作品紹介(一部)

※ 前期・後期どちらかの展示となる作品もあります

■少女雑誌の作品



《或る夜の夢》 1922年

(『令女界』表紙原画)

/落谷虹児記念館(新発田市)蔵

■パリ時代の作品

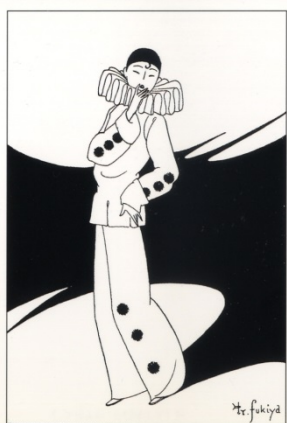


《混血児とその父母》 1926年

(サロンドートンヌ初入選作)

/落谷虹児記念館(新発田市)蔵

■詩画集の作品



《夜更けに聴く靴の音》 1935年

(詩画集『花嫁人形』原画)

/落谷虹児記念館(新発田市)蔵

■集大成といえる晩年作品



《うたたね》 1973年

(個展出品作)

/個人蔵

落谷虹児プロフィール Koji Fukiya

「^{ふみやこうじ}落谷虹児」(1898~1979)

新潟県生まれ。大正から昭和にかけて、少女雑誌の表紙や挿絵を描き、詩人としても活躍、9冊の詩画集を出版するなど、絶大な人気を誇った。

『花嫁人形』は25歳の詩。

日本画家・尾竹竹坡の内弟子となったのが15歳。その後2年半、樺太に渡って旅絵師として放浪する。1920年、竹久夢二の推薦で『少女画報』にカットや挿絵を描いてデビュー、瞬く間に人気挿絵画家となる。27歳の秋、本格画家を目指して渡仏、パリでは春秋サロンに連続9点入選、シャンゼリゼの一流画廊で開いた個展も成功させる。1929年に帰国後は、再び挿絵を描いて、そのモダンな画風で一世を風靡した。

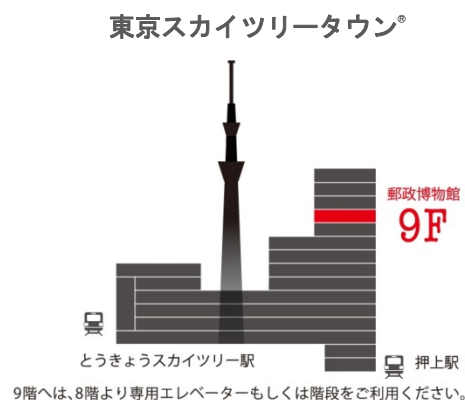
戦後は、名作童話や絵本の分野でも活躍、晩年は個展を続けて開催した。代表作として知られる『花嫁』は、古希を祝う大回顧展に出品した新作中の1点。また『落谷虹児抒情画大集』など画集5冊を出版、長年にわたって多くのファンを惹きつけた。



開館記念特別展『—少女たちの憧れ—「落谷虹児」展』

開催概要

- 【会期】** 2014年3月1日(土)～5月25日(日) 10:00～17:30(入場は17:00まで)
<前期:3/1(土)～4/13(日)、後期:4/15(火)～5/25(日)>
休館日: 3/17(月)、4/14(月)、5/7(水)
※会期中作品の展示替えがあります。
※2014年3月1日は開館時間の変更があります。あらかじめご了承ください。
※混雑具合によっては、時間制の入館整理券を配布することもあります。
- 【会場】** 郵政博物館 企画展示場
〒131-8139 東京都墨田区押上 1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ 9階
- 【入館料】** 大人 300円、小中高 150円
※郵政博物館への入館料となります。
※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料
※10名以上の団体は、大人 250円/小中高 100円
- 【展示内容】** 大正・昭和にかけて少女雑誌の挿絵などで活躍した人気作家 落谷虹児の雑誌、絵本の原画や詩画集など、初期から晩年までの厳選した作品・資料 約200点(前期後期併せて)
生涯の活動を大きく4つのテーマに分け作品・資料を紹介。
①少女雑誌の作品
②本格的な画家を目指したパリでの留学時代の作品
③詩画集や戦時中の作品
④絵本・童話原画や集大成といえる晩年作品
- 【アクセス】**
- 【交通】** 東武スカイツリーライン:「とうきょうスカイツリー駅」下車
東武スカイツリーライン・東京メトロ半蔵門線
京成押上線 都営浅草線:「押上(スカイツリー前)駅」下車すぐ
※博物館専用の駐車スペースはございません。公共の交通機関をご利用ください。
- 【東京スカイツリータウンイーストヤード 9階へのアクセス】**
エスカレーターまたはエレベーターで8階まで。
8階で8-10階専用エレベーターへ乗りかえ、9階で降り右折正面。
- 【主催】** 郵政博物館
- 【後援】** 新潟県新発田市、日本郵政株式会社
- 【HP】** <http://www.postalmuseum.jp/>
- 【TEL(一般)】** TEL 03-6240-4311(2014年2月10日～)



【プレスリリースに関するお問い合わせ】

郵政博物館 (公益財団法人通信文化協会博物館部) 担当: 岩島、富永、菊池
TEL: 03-6240-4377 Fax: 03-3625-2521